2024年度 授業計画(シラバス) 日本コンピュータ専門学校

学科名	学年	授業のタイトル(科目名)	
工業専門課程 デジタルクリエイター科	2	課題制作Ⅱ	
授業の種類	授業担当者	実務経験	
☑ 講義 □ 演習 ☑ 実習	徳田 恭子	● 有	

[実務経験歴]

制作会社、フリーランス、一般企業でのWEBサイトデザイン・構築・保守業務に20年弱従事

(Dreamweaver、Fireworks、Photoshop、Illustrator使用した、HTMLサイト / Wordpressの構築)

企業のマーケティング部でウェブディレクターを3年担当

求職者訓練ウェブデザインコースインストラクター3カ月×2回担当

専門学校にてウェブデザイン講師を3年担当

単位数(授業の回数)	時間数⊠	配当時期	必修・選択
4 単位 (60 回)	120 時間	○ 前期 ○ 後期 ● 通年	○ 必修 ● 選択

「授業の目的・ねらい」

クライアントワークを想定し、基本的なディレクションのもと、デザインや実装に工夫を凝らして完成度の高いウェブサイト を作ることを体得する。

「授業全体の内容の概要」

- ・官学連携プロジェクトのLP制作
- ・自主制作サイト構築のための情報収集を行い、同業他者を分析する
- ・コンテンツに沿ったサイトの構築内容をグループで検討し、役割を分担してサイトを完成させる
- ・留学生日記の構築(昨年から始まったブログサイトの構築を継続)

「授業終了時の達成課題(到達目標)]

5回 ランディングページのトレース

クライアントワークに対し、チームで協働しながらサイトを構築する過程を体得する。

「準備学習の具体的な内容】

[44 m = 1. - 1.]

毎授業ごとに復習の有無の確認を行い、講義・実習を進める。授業終了時には、講義内容の確認と次回の授業内容を説明し、復習・予習ができるようにする。また、長期休みの時は、課題を実施する。

[使用テキスト]	[単位認定の方法及び評価の基準]
使用テキスト	定期試験と出席日数の両方が次の規定に達した場合に認定する。
なし	・試験の点数は60点以上を合格点とする。
	・全出席日数の4分の3以上の出席が必要。
参考文献	評価基準
必要に応じて授業の中で紹介する。	定期試験80%、平常点(出席、講義の参加度)20%とする。
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]	
1回 ランディングページとは	
2回 ランディングページのトレース	
3回 ランディングページのトレース	
4回 ランディングページのトレース	

6回	自主制作サイトLPの企画・情報収集
	自主制作サイトLPのワイヤー・デザイン制作
	自主制作サイトLPのデザイン制作
9回	自主制作サイトLPのデザイン制作
10回	自主制作サイトLPのデザイン制作
11回	自主制作サイトLPのコーディング
12回	自主制作サイトLPのコーディング
13回	自主制作サイトLPのコーディング
14回	自主制作サイトLPのコーディング
15回	まとめと振り返り
16回	自主制作サイトLPのコーディング
17回	自主制作サイトLPのコーディング
18回	自主制作サイトLPのコーディング
19回	自主制作サイトLPのコーディング
20回	自主制作サイトLPのコーディング
21回	自主制作サイトLPのコーディング
22回	自主制作サイトLPのコーディング
23回	自主制作サイトLPのコーディング
24回	自主制作サイトLPのコーディング(完成)
25回	官学連携LP(大阪防災アプリの紹介LP)の企画
26回	官学連携LP(大阪防災アプリの紹介LP)のデザイン制作
27回	官学連携LP(大阪防災アプリの紹介LP)のデザイン制作
28回	官学連携LP(大阪防災アプリの紹介LP)コーディング
29回	官学連携LP(大阪防災アプリの紹介LP)コーディング
30回	まとめと振り返り
31回	官学連携LP(大阪防災アプリの紹介LP)コーディング
32回	官学連携LP(大阪防災アプリの紹介LP)コーディング
	官学連携LP (大阪防災アプリの紹介LP)コーディング
	官学連携LP(大阪防災アプリの紹介LP)コーディング
	留学生日記構築
	留学生日記構築
-	留学生日記構築
	留学生日記構築
	留学生日記構築
45回	まとめと振り返り

46回	自主作品制作
47回	自主作品制作
48回	自主作品制作
49回	自主作品制作
50回	自主作品制作
51回	自主作品制作
52回	自主作品制作
53回	自主作品制作
54回	自主作品制作
55回	自主作品制作
56回	自主作品制作
57回	自主作品制作
58回	自主作品制作
59回	自主作品制作
60回	まとめと振り返り